

[注意事項] RHEL7.X 上での HP Operations Agent 11.14 for Linux のご利用について

■当該資料の対象となる条件

HP Operations Agent 11.14 for Linux (以下、HPOA11.14) で提供されている Motif 系 GUI ツールの xglance を RHEL7.X 上で使用する場合が対象となります。

■注意の内容

HPOA11.14 で提供されている xglance を RHEL7.X 上で使用する場合には以下についてご注意事項です。

- RHEL7.X には xglance の起動に必要な Open motif に関するパッケージ(openmotif.X.X.X-XXX)が含まれていません。
- xglance の利用には Open Motif ライブラリが必要です。
- glance(CUI 版ツール)のご利用は問題ありません。

■回避策

RHEL7.X 上で xglance を使用する場合には以下の回避策を実施してください。

1. OA11.14 インストール

HPOA11.14 のインストールは RHEL6.X 上のインストールと同様に実施します。

インストール時、Open Motif に関するパッケージがインストールされていないことにより、以下のエラーメッセージがインストール画面とインストールログファイル(/var/opt/OV/log/oainstall.log)に出力されますが無視してください。

Recommendations:

[PASS] Check if IPV4/IPV6 configuration is fine

[FAIL] Check if Open motif is installed

Open motif toolkit not installed, xglance functionality will be affected.

購入ライセンスに合わせた製品の著作権(LTU)の設定等についてはインストール後に実施します。

2. 回避策の適用

RHEL7.X 上で xglance を使用するために、以下のパッケージ(Open Motif の代用となるパッケージ)をインストールしてください。

```
motif-2.3.4-7.el7.x86_64
libXp-1.0.2-2.1.el7.x86_64
xorg-x11-fonts*
```

また、これらに必要な依存関係のあるパッケージは合わせて全てインストールしてください。

[ご参考]

yum を用いてパッケージをインストールされますと、依存関係を考慮したパッケージのインストールを行うことができます。

例: # yum install motif-2.3.4-7.el7.x86_64

3. ファイルのシンボリックリンクの作成

/usr/lib64/libXm.so.3 -> libXm.so.4.0.4 のシンボリックリンクを作成します。

```
# cd /usr/lib64
# ln -s libXm.so.4.0.4 libXm.so.3
```

以上の回避策手順を実施することにより、RHEL7.X 上で xglance を利用することが可能になります。